

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	高知県立療育福祉センター通園事業部				公表日	R7年 3月 7日		
					利用児童数	R7年 1月 31日		
					回収数	33人 / 36人中		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> 子ども本人が快適に過ごしていると思われる。 一つ一つのゾーンがしっかりと活動しやすいスペースだと思います。 子どもが横になった姿勢でも活動できるスペースがある。 		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> 子どもが名前を覚えやすく、一人に頼りきりにならないので適切だと思う。 多めに配置してくれているので、子どもも安心できています。 保育士だけでなく看護師やPTもいて安心して通える。 		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> 視覚をシャットアウトするが、上部が開放的なので良いと思う。 参加している子の写真やその日の活動内容を絵カードにしてくれている。 		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> 快適だと思う。(子どもにとって) 活動後は使用したおもちゃ等を拭いてくれたり清潔に保ってくれている。 		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32				<ul style="list-style-type: none"> 特性に合わせて支援をしてくれています。 活動中の表情や反応を見て臨機応変な支援をしてくれる。 		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			3			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	33					<ul style="list-style-type: none"> 計画が分かりやすく、達成しやすい目標になっている。 普段の活動中の反応やこちらからのニーズを取り入れた計画になっている。 	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31				2	<ul style="list-style-type: none"> 計画は具体的で分かりやすいです。 初期は自分の知識不足で良く分からなかったが、情報を提供して理解が深まった事により、支援の適切さが理解できるようになった。親側の理解のハードルが高く感じてしまった。 	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33					<ul style="list-style-type: none"> 成長に応じて内容が少しずつ変わっていて、家での支援の参考になる。 計画に入っているところを少しずつ取り組んでくれています。 	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32				1	<ul style="list-style-type: none"> 季節の遊びや行事を取り入れられている。 季節ごとの遊びや歌を用意してくれている。 	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	3	4	3 未回答 1	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと遊ぶこともあれば、一人で遊ぶこともある。 参加し始めてから日が浅いから分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症児、難聴児通所利用のお子様のが大半が地域の保育園や幼稚園に並行通園しているため、日常的に障がいのないお子さまと活動する機会はあります。 三通所とも親子への療育を目的としているため、直接的な交流は設けていませんが、利用児の地域でのよりよい育ちを支えるために、園と家庭と当事業所が連携していけるよう支援しています。 	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1				<ul style="list-style-type: none"> 1時間ほど時間を取ってくれた。 		
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32				1	<ul style="list-style-type: none"> 疲れているときは情報が多すぎて受け取り側が情報を取りこぼしていると感じることがある。 		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32			1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても参考になった。 ・日が浅く参加をしたことはないが研修会があるという話は聞いた。 		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの何気ない日々の話しもしやすい環境で助かっています。 ・どの先生が支援して下さっても本人をよく理解して下さっていると感じています。 ・頻りに聞き取りしてくれていると思う。 ・不安に思っている事、分からない事など親身になって相談にのってくれ、対処してくれているので、とても安心で助かっています。 ・いつも話がしやすいです。 		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・困った時は電話での対応など助かっています。 ・その度に良いアップデートが来ていると思う。 ・子どもの様子を見てアドバイスをもらっている。 ・数ヶ月おきに面談がある。 	・療育の中でお話を伺うようにしています。いつでもご相談ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> ・肯定の言葉が多く共感的に感じる。 ・子どもの好きな刺激のあるおもちゃを用意してくれる。 		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	4		5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の保護者の方と交流する機会を設けてくださるのが、本当に有難いです。 ・保護者への会や交流の場があるが、きょうだい同士はないと思う。 ・きょうだいも参加した手話の学習はとてもよい機会でした。 ・参加していないときもあるので良く分からない。 ・保護者会など、忙しく参加できておりませんが、家族への支援をしてきております。 ・保護者会の開催をしてくれているが、きょうだい向けのイベントがあるかは分からない。 ・きょうだい同士の交流はほかの場ではなかなか難しいのでこちらで交流できるようにしてもらってとてもありがたいです、今後も続けて欲しいです。 	・各通所で、年間を通して計画的に保護者同士の連携を目的に保護者研修会や保護者の集いを開催しています。来年度も継続して開催をしていきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29				4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が理解不足な点多々あるので、適切かは判断できない。 ・質問ノートもあり、お互いが悩んでいることも分かります。 	・相談については、療育に来られた時に、いつでも対応できるよう職員を配置しております。家庭でのこと、保育所等でのことなど何でもご相談ください。療育以外の日でも、お電話や面談を設けることができますので、お気軽にお声おかけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33					<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を短く、視覚的に伝達してくれているので発達が進んでいると思う。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25				8	<ul style="list-style-type: none"> ・通信は目を通してはいるが、SNS等をあまり使わないので判断できない。 ・新規の方へのアプローチがあれば良いなと思います。 ・おたよりをもらえる。 	・通園全体のことは、県庁ホームページに掲載しています。また、各通所で情報は掲示板に掲載したり、お便りでお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31				2	<ul style="list-style-type: none"> ・良い意味で役所的（ルールが厳格） 	・個人情報については、紙・データ全て県の規定に則って管理をしています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	1	7	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練に参加したことはない。 ・通所の頻度が少なく不明。 ・子や保護者が一緒には訓練していないがマニュアルの策定はされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用されている方の利用（回数）に合わせた訓練にはなっていませんが、定期的にセンター内で職員を対象に、あらゆる非常災害の発生に備えた避難、救出訓練を実施しています。なお、保護者の方のご要望や訓練の必要性があるお子さまについては、保護者の方と一緒に実際の避難訓練の確認、避難方法や援助の仕方など支援の中で取り組んでいます。 ・マニュアルについては、契約時に説明をしています。質問等がありましたら、いつでもお声かけ下さい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		13	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の頻度が少なく不明。 	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1		6	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の頻度が少なく不明。 ・発達に合わせた無理のない活動や感染症対策がされている。 	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			8 未回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の頻度が少なく不明。 ・まだこういった状況になったことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故など発生した場合には、速やかに連絡し、説明を行います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32			1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に。 ・親子で安心して通えております。 ・長年通うことで変化も分かるし成長も感じることができて嬉しいです。 ・ぐっすり寝れるくらい安心感がある。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週楽しみにしているので頑張って通所できるようにしています。 ・待ちきれない程に。 ・好きなおもちゃを提供していただき、とっても楽しみにしております。 ・今はイヤな場所になっている。切り替えがイヤで車ですつと遊びたいから…だが、少しずつなれて欲しい。 ・毎回えるへ行くことを楽しみにしていて、えるでしたことも家で振り返って喜んでいます。 ・楽しく参加できている。 ・本人もニコニコ楽しく通えています。 ・部屋に入ると先生たちが明るく迎えてくれるのでニコニコと嬉しそうなる時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこどもさんの強みを活かし、保護者の気持ちに寄り添い安心して通えるよう療育の提供に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32			1	<ul style="list-style-type: none"> ・短い期間でしたがとても安心できました。もう少し早く通所につながっていただければ良かったなと思います。 ・PTの先生も入ってくれてより姿勢や工夫してもらえて感謝です。妹と一緒に通えて本当に感謝しています。 ・発達に合わせた支援をしてくれる。 	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		高知県立療育福祉センター 通園事業部				
		公表日 令和7年3月7日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		・個々の障がいの特性に合わせて分かりやすく環境調整している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14		・療育前の打ち合わせ、療育後の課題確認と日々PDCAサイクルを意識している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・毎年事業所評価アンケートを実施し評価結果から業務の改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・療育終了後には必ず反省会を行い、次回の課題や引継ぎ事項をスタッフ全体で確認している。 ・スタッフ会、部会等で意見を出し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14		・療育等におけるコンサルテーションを定期的に受け、資質向上に務めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		・部内での勉強会や外部への研修会等、年間を通じて職員全員が研修を受ける機会を設けている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		・作成中。今年度中に公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14		・毎月カンファレンスを行って、スタッフ全員で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			・年齢、個々に応じたプログラムを工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			・地域の保育所等に就園している児が多く、定期的に園訪問や会議、又、療育の見学を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			・会議や文書による情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	13	1		・支援会などを通じてセンター、事業所と連携を図っている。 ・事業所のコンサルテーションに向かっている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	10		・日程調整が難しく参加できていない。今後は調整できれば参加していく。 ・議事録等については確認している。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	5		・保育園等に並行通園している児がほとんどであるため、特別な設定はしていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14				

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の集いやきょうだい児が参加できる手話講座などの機会を設けている。 ・研修会に参加できない保護者の方へも便りで伝えたり、保護者同士が質問し合えるノートなどを設けている。 ・保護者だけで集まるイベントを企画したり、普段交流のない保護者とも交流できる機会をつくったりしている。行事ではきょうだい児の演目を作成し、交流する機会を設けている。 	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14		・定期的におたよりを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7	・見学や研修、地域に向向いの研修を行うなど、地域に開かれた事業を行っている。	・地域住民との交流は現在行われていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		・栄養士も交えて食事内容を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14		・避難経路の確認や非常時の対応については保護者と話している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		・センター全体で研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高知県立療育福祉センター通園事業部		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 18日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 18日		～ 令和6年 12月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供・個々の特性に合わせ、子どもさんの強みを活かした支援を行っている。	・個別支援計画を基に療育支援を行っている。 ・ケース検討会ではチームで課題や支援内容を協議している。 ・日々の療育の中でも保護者との対話を通してニーズや課題を確認している。	
2	・親子通園のため、療育の中で子どもさんの成長と一緒に感じながら、子どもさんとの関わり方や支援方法を保護者が学ぶことができる。	・きめ細やかな指導で子どもさんの出来る事を増やし自信に繋げている。 ・保護者の思いに寄り添いながら、声かけのタイミングや褒め方などを個別に伝えている。	
3	・医療、リハビリテーション、保育の専門職が保護者の方と連携を取りながら療育を行っている。	・療育福祉センターの専門性を生かして支援をしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信	・感染対策、災害対策等のマニュアル作成はしており、契約時に説明し療育室に置いているが、定期的な周知はできていない。	・親子通園なので、随時情報発信はできているが、SNS発信などの活用も検討しつつ、今後も保護者に分かりやすい情報発信を努めていく。
2			
3			